

第 66 回栃木県公衆衛生大会において 当協会から若月理事と藤原理事が受賞されました

9月2日（水）、宇都宮市の栃木県総合文化センターにおいて「栃木県公衆衛生大会」が開催され、多年にわたり公衆衛生事業の発展に尽力された功績が認められ、保健衛生事業功労者として、当協会の若月理事が知事表彰、藤原理事が大会長表彰を受賞されました。

○知事表彰受賞者



(公社) 栃木県産業資源循環協会 若月理事

若月理事は、平成 20 年から青年部副部長、平成 25 年から 5 年間にわたり青年部長を務め、地域貢献活動や環境教育、清掃活動などを積極的に推進し、青年部活動の発展に寄与されました。平成 28 年に理事に就任後は、研修委員会副委員長、令和 2 年からは普及啓発・情報委員会委員長として、産業廃棄物に関する普及啓発活動に尽力されるなど、協会の事業推進に貢献されております。

自社の鈴運メンテック㈱においては、平成 27 年に代表取締役社長に就任。従業員教育や健康づくりに積極的に取り組み、「とちぎ健康経営事業所」に認定されるなど、従業員の健康維持・増進と働きやすい職場環境の整備を推進しております。

○大会長表彰受賞者



(公社) 栃木県産業資源循環協会 藤原理事

藤原理事は、令和 4 年に理事に就任。協会の組織運営や重要事項について、これまで培われた知識と経験を生かし、冷静かつ的確な判断により、協会の事業推進や円滑な運営に貢献されております。また、理事として協会の発展と資源循環の推進に尽力されております。

自社においては、サンエコサーマル㈱代表取締役社長として、サーマルリサイクル事業を推進し、環境負荷の低減と資源の有効活用に取り組んでおります。また、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが評価され、「とちぎゼロカーボン企業表彰」を受賞。さらに、災害時における急速充電設備の外部利用体制を整備し、「栃木県地域電源供給拠点」の認定を受けるなど、地域の防災力向上にも貢献されております。

* 栃木県公衆衛生大会趣旨

快適で良好な環境のもとで、生涯に渡って健やかな生活を送ることは、すべての県民の願いです。しかし、医学の進歩、公衆衛生及び生活水準の向上にもかかわらず、健康を阻害する課題は依然として多く、適切な解決が必要とされています。そこで、県内の公衆衛生関係者が、健康及び環境問題に対する認識を更に深め、問題解決への意欲を新たにするとともに、関係者の資質の向上と県民の公衆衛生、環境保全に対する関心を高めるため、公衆衛生大会及び公衆衛生学会を開催しております。また、救急医療及び救急業務に対する県民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、救急医療週間記念大会をあわせて開催するものです。